

要件事項	<p><航空／海上業務> 国際観光旅客税の対応</p>
機能概要	<p><変更前仕様> 国際観光旅客税の取り扱い不可</p>
	<p><変更後仕様> 国際観光旅客税の取り扱いを可能とするため、「汎用申請（HYS）」業務等にて国際観光旅客税の納付に係る登録を可能とする。当該変更に伴い、国際観光旅客税用の汎用申請手続種別コードを追加する。 ※その他、書面による手続きを想定し、税関における国際観光旅客税の納付に係る登録も可能となる。</p>

1. 変更内容

(1) オンライン業務の変更

国際観光旅客税の登録を可能とするため、以下の変更を行う。国際観光旅客税の納付に係る登録にかかる業務フローは、別紙「別紙 01_業務フロー」参照。

(A) 汎用申請業務の変更

(a) 汎用申請手続種別コードの追加

国際観光旅客税の納付申出を汎用申請で登録するため、以下の汎用申請手続種別コードを追加する。

表 1 汎用申請手続種別コードと用途

汎用申請手続種別コード*1	納税者の種類*2	納付方法
K 5 0	個人	直納
K 5 1	個人	MPN
K 5 2	国外事業者	直納
K 5 3	国外事業者	MPN

(*1) 本資料上のコード値は仮とする。

(*2) 具体的納期限日の算出に使用する。詳細は、後述の汎用申請業務の変更を参照。

(b) 汎用申請業務の変更

(ア) 具体的納期限日の算出方法と基準となる日付の入力について

国際観光旅客税の具体的納期限日を決定するため、「汎用申請（HYS）」業務（「汎用申請変更（HYE）」業務）の記事欄に基準となる日付を入力するよう変更する。

①基準となる日付の入力方法について

記事欄の入力値において、最初に存在する「*」から次の存在する「*」までの間の入力値を基準となる日付とする。ただし、納税者の種類が国外事業者の場合、基準となる日付は、月までの日付も入力可能とする。

(例) 基準となる日付を2018/5/1とする場合、「*20180501*」と入力。

基準となる日付を2018/5とする場合、「*201805*」と入力。

納税者の種類が個人の場合は、基準となる日付の入力は8桁（年月日：yyyyMMdd）のみ入力を可能とする。納税者の種類が事業所（国内及び海外）の場合は、基準となる日付の入力は8桁（年月日：yyyyMMdd）または6桁（年月：yyyyMM）のいずれかの入力を可能とする。

②具体的納期限日の算出方法について

①の基準日（または基準月）から以下の通りシステムで算出する。

納税者の種類が個人の場合は、①の基準日を具体的納期限日とする。

納税者の種類が国外事業者の場合は、①の基準日（または基準月）の翌々月末日を算出した日を具体的納期限日とする。ただし、算出した日が税関閉庁日の場合は、翌税関閉庁日を具体的納期限日とする。

(イ) 汎用申請の保存期間について

HYS業務及びHYE業務にて入力された汎用申請手続種別コードが国際観光旅客税に係るコードであった場合、保存期間を180日とする機能を追加する（※後期の「汎用申請手数料等納付申請（RPC）」業務が行われなかった場合の保存期間）。なお、HYS業務実施後にHYE業務が実施された場合は、HYE業務実施日から180日後が削除日となる。

(ウ) 「汎用申請手数料等納付申請（RPC）」業務の入力チェックについて

RPC業務にて汎用申請手続種別コードが国際観光旅客税に係るコードであった場合、手数料金額欄に入力された値が1000円以上かつ、1000円未満の位の入力がないことのチェックを追加する。

(エ) RPC業務実施時の処理の変更について

国際観光旅客税の納付に係るRPC業務が実施された場合に、以下の処理を行うよう変更する。

- ①当該汎用申請受理番号に対して、審査済みであることの登録を行う。
- ②汎用申請DBに削除対象である旨の登録を行う。
- ③国際観光旅客税の納付に係る登録を行う。

(オ) 原本保存対象帳票の追加について

汎用申請手続種別コードが国際観光旅客税に係るコードであった場合には、汎用申請手数料等納付申請控情報を原本保存対象とする。保存期間については、原本保存年数の設定値を元に決定する。

(c) 汎用申請手数料等納付申請照会業務の変更

RPC業務にて国際観光旅客税の登録がなされた内容を、「汎用申請手数料等納付申請照会（RPS）」業務にて照会可能とするよう変更する。

(d) 特記事項

- ①汎用申請による手数料納付用のテーブルに国際観光旅客税の情報は登録されないため、「J01_手数料未納付一覧」に国際観光旅客税の計上はされない。

(2) 業務名、帳票名、管理資料名及び項目名の変更

汎用申請にて国際観光旅客税の申請が可能となるため、手数料のみの取扱ではなくなることに伴い、「手数料」という文言を「手数料等」へ変更する。対象は、別紙「別紙02_「手数料」の文言修正対象一覧」参照。当該変更に伴い、出力情報コードの世代を変更する。

2. 変更対象業務

<オンライン業務>

- ・「汎用申請（HYS）」業務
- ・「汎用申請変更（HYE）」業務
- ・「汎用申請手数料納付申請（RPC）」業務

3. 特記事項

パッケージソフトのバージョンアップが必要。

4. 添付資料

- (1) 別紙01_業務フロー.vsd
- (2) 別紙02_「手数料」の文言修正対象一覧.xlsx

5. リリース予定日／サービス開始予定日

平成30年12月20日（木）オン中リリース（19:00～21:00）